

戦跡紹介

京橋駅爆撃被災者慰霊碑と納経堂

(大阪市都島区片町2-3 JR環状線京橋駅南口付近)

1945(昭和20)年8月14日、アメリカ軍は大阪城の東側にある大阪陸軍造兵廠(大砲を製造する工場)を爆撃機B29により空襲しました。そのとき数発の爆弾が国鉄(現JR)京橋駅を直撃し数百名の方々が亡くなりました。



終戦後、同駅南口付近に市民により1947(昭和22)年8月に慰霊碑、33回忌には納経堂が建てられました。ここでは毎年8月14日に慰霊祭が行われます。参考資料:小山仁「改訂大阪空襲 大阪が壊れた日」

ピースおおさか友の会 会員募集のご案内

戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝え「平和の首都」大阪の実現をめざす「ピースおおさか友の会」会員を募集しています。

Table with membership details including benefits, fees, and application methods.

ピースメッセージ

ピースおおさかに来られた方から寄せられたご意見・ご感想の一部をご紹介します。

- List of messages from visitors, including comments on the bombing of Osaka and the museum's impact.

寄贈品紹介

戦争柄の布

戦争柄の布や着物がつくられるようになったのは日清戦争の頃で、大阪から流行り始めたとされています。戦争柄は特に男児にとって縁起のよいものとされ、大正以降は子どもの着物柄として盛んに使われるようになりました。



前田須美子氏寄贈 (サイズ:3140×340mm)

ピースおおさか オリジナルグッズの紹介

常設展示を解説した「展示のてびき」や来館記念・お土産として「缶バッジ」「キーホルダー」「Tシャツ」「ランチクロス」など、オリジナルグッズを販売しています。



ピースおおさか ご利用案内

- List of services including group tours, exhibitions, video/DVD rentals, and material donations.

資料寄贈者 2007.9.1~2008.3.31 (敬称略)

Table listing donors and their names, categorized by group and individual.

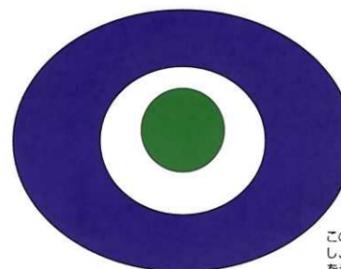
資料収集にご協力ください

ピースおおさかでは、戦争と平和に関する資料及び資料に関する情報を収集し、調査・研究に役立て、後世に伝えていくため大切に保存しています。この意義をご理解いただき、資料収集にご協力くださいますようお願いいたします。

●問い合わせ先●

ピースおおさか

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号 TEL.06-6947-7208 FAX.06-6943-6080



ピースおおさか OSAKA INTERNATIONAL PEACE CENTER

2008 9/1 (平成20) No.39

編集・発行/財団法人 大阪国際平和センター 〒540-0002 大阪市中央区大阪城2番1号 TEL.06(6947)7208 FAX.06(6943)6080 ホームページ http://www.peace-osaka.or.jp

展示事業 特別展

〈ピースおおさか2007(平成19)年度後半の事業報告〉

「せんそうはなぜおこるの?」

～『核戦争を考える2つの童話』から現代の戦争と兵器を考える～

期間:9月27日(木)~11月18日(日)(計43日間)

協力:はやしたかし、(NPO)テラ・ルネッサンス、日本ユニセフ協会、共同通信社 参加者:19,926名

今、世界のどこかでは銃声が鳴り響いています。爆弾が炸裂しています。遊び盛りのはずの少年が銃を構えています。赤ちゃんを抱えたお母さんが逃げ惑っています。瓦礫の中に埋もれた妻子を夫は涙をこらえて探しています...

今回の展示では「人間はどうして戦争をするんだろう?」という疑問をもう一度問い直し、「核戦争を考える2つの童話」(はやしたかし著)をもとに、戦争を惹き起こす「人間の恐ろしさや愚かさ」を問いかけ、あわせて「事実上の大量破壊兵器」といわれている小型武器の「実態」、無理やり銃を持たされる子ども兵士の「苦悩」、核兵器のもたらす「惨状」、人の姿が見えない現代兵器の「恐怖」を紹介することによって、恒久の平和を築くために、私たちに今何ができるのか、また何をしなければならないのか、ともに考える機会として開催しました。



「パキスタン北部の子どもたちからのメッセージ」

—パキスタン地震の被災地から— —アフガニスタン難民キャンプから—

期間:11月27日(火)~1月27日(日)(計46日間)

協力:毎日新聞東京本社、(社)ガールスカウト日本連盟大阪府支部 参加者:12,283名



2005(平成17)年10月8日に発生したパキスタン北部を震源とするマグニチュード7.6の地震では、カシミール地方に壊滅的な打撃を与え、7万3千人以上の人が犠牲となりました。

また、パキスタンには1979(昭和54)年以降、アフガニスタンからの難民が大量に流入し、約120万人の人々がキャンプ生活をしており、日本の民間団体がパキスタン北部の難民の子どもたちに教育教材を直接届ける活動を展開してきました。

私たちは、このパネル展(140点)を通して、平和な社会を揺るがしかねない自然災害の恐ろしさや多くの人々が犠牲を強いられる紛争問題について、改めて認識するとともに、厳しい状況の中でもたくましく生きる子どもたちからのメッセージを感じ取りながら今何をすべきか、何をしなければならないのか、平和の大切さについて考える機会としました。

開館時間:9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館日:月曜日、国民の祝日の翌日(月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は開館)、月末、年末・年始 入館料:大人250円、高校生150円(中学生以下、65歳以上及び障がい者の方は無料) 交通:JR環状線・地下鉄「森ノ宮」駅下車西へ約400m

展示事業

特別展

「写真と絵で見る大阪～戦前・戦後・そして今～」

期間：2月5日(木)～4月13日(日) (計58日間) (6月8日まで延長)
協力：財団法人都市工学情報センター、大阪日日新聞 参加者：8,525名



戦前、大阪は商工業の街として発展しましたが、空襲により街は焼け野原となりました。戦後、高度経済成長とともに次々と新しいビルが建設され、街の風景も大きく様変わりしました。同時に、戦争を体験された方々も次第に少なくなり、戦争の記憶が忘れ去られつつあります。

戦前・戦後の大阪城・御堂筋・ミナミの繁華街から新世界、通天閣、四天王寺等大阪府内の街の様子がうかがえる写真や絵と、同じ場所で撮影した現在の写真を並べて展示し、二つを見比べることにより、戦前・戦後の市民生活や空襲による被害の様子を知り、現在までの時代の移り変わりについて考える機会としました。

企画事業

12・8開戦の日平和祈念事業

「着物柄にみる戦争～日清・日露、そして太平洋戦争まで～」

講演会

講師：乾 淑子 (北海道東海大学教授)

日時：12月8日(土) 午後2時～4時

参加者：84名



3・13大阪大空襲平和祈念事業

第1部 講演会

「女学生たちの戦争体験～戦争は絶対にくりかえしてはいけない～」



コーディネーター：横山 篤夫 (関西大学・天理大学非常勤講師)

報告者：戦争を体験した旧制高等女学校の卒業生8名

日時：3月9日(日) 午後1時30分～3時30分

参加者：310名

第2部 ドキュメンタリー映画

「大阪大空襲の夜 地下鉄は走ったのか」

日時：3月9日(日) 午後3時45分～4時45分

参加者：280名

16ミリ映画・ビデオ・写真パネルの貸出

地域や学校での平和学習に、16ミリ映画フィルムやビデオ・写真パネルをご利用ください。無料で8日間利用できます。

ピースおおさか2007(平成19)年度後半の事業報告

10月より3月までの主な事業の様子を報告します。

企画事業

「21世紀の子どもたちへおくる平和のつどい」

冬休みアニメ映画会

Table with 2 columns: Date and Event Name. Includes dates like 12月23日 and 25日, and titles like 「MOTTAINAIもったいない」.

ピースおおさか名画劇場 参加者：147名

Table with 2 columns: Date and Title. Includes dates 1月19日 and 1月20日, and titles 「TOMORROW 明日」 and 「亀も空を飛ぶ」.

「ピースフルステージ」

ピースフルコンサート2007

「音楽は国境をこえて」

～クラリネットアンサンブルの魅力～

司会：文字 祐子 (もんじゆうこ)

演奏：大阪市音楽団クラリネットアンサンブル

日時：10月20日(土) 午後2時～4時

参加者：270名



ピースフルコンサート2007

「ゴスペル～歌声で響きあう心～」

日時：12月22日(土) 午後2時～3時30分

出演者：SCOR (スコール)・ゴベック

参加者：296名



ピースおおさかのいろんな形の屋根

平和とは、多様なものが相互に認め合って同時に存在し得る世界であることを表現しています。

核軍縮フォーラム

講演会 「ヒロシマから世界へ」

～「戦争文化」から「平和文化」の構築へ～

日時：11月3日(土) 午後2時～3時30分

講師：スティーブン・ロイド・リーパー (財団法人 広島平和文化センター理事長)

参加者：77名



フィールドワーク

「空襲と残された建物 ～御堂筋周辺を歩く～」

講師：三島 佑一 (四天王寺大学名誉教授) 酒井 一光 (大阪歴史博物館学芸員)

日時：3月16日(日) 午前9時30分～12時

参加者：46名

御堂筋周辺は、戦前から織維問屋、銀行、商社などが集中し、大阪の商業の中心地として栄えていました。しかし1945(昭和20)年3月13日深夜から14日未明にかけての、アメリカ軍の爆撃機B29による大規模な空襲で、この地域は炎に包まれ、人々はその中を逃げ惑い、約4千名もの尊い人命が奪われました。



当時居住していた空襲を体験された方と地域を歩き、あわせて空襲の被害を免れた貴重な文化財を見学し、平和の尊さについて考える機会としました。

C展示室 「世界は今」コーナー

Table with 2 columns: Date and Title. Includes dates like 3月～11月 and titles 「地球環境の危機」.

講堂内展示コーナー

Table with 2 columns: Date and Title. Includes dates like 4月～3月 and titles 「寄贈資料の展示」.